2020年6月

第117号

# ぱれっと

(㈱北日本ベストサポート Tm. 018-883-1888

## 「コロナとの暑い戦い」

相変わらずコロナにまつわる話題になってしまう。

様々なスポーツやイベントが中止となり、飲食業の時間制限など直接的・間接的にその 影響が拡大され企業の倒産や従業員の解雇など経済力低下への懸念報道も増加傾 向となっている。

スポーツでは東京オリンピック・パラリンピックが来年夏に延期されたほか、大相撲夏場所が中止となり、女子プロゴルフの開催も目処が立たずにいる。

さらに、全国高校体育大会(インターハイ)が史上初の中止となり、全国高校野球選手権大会(甲子園)が春の選抜を含めて取りやめとなった。

これまでその日を夢見て全力で部活動に取り組んできた生徒たちの心情には察するに余るものがある。

海外メディアは日本の新型コロナ対策について、欧米のように「強制力のあるロックダウン(都市封鎖)も行わず」、「PCR 検査数も他国に比べて非常に少なく」、さらに「東京オリンピック・パラリンピックの開催にこだわるあまり初動に遅れを取った」と日本の対応に批判的で「日本は新型コロナの最も悲惨な国の一つとなる」と報じてきた。

しかし、現状では検査率が人口のわずか 0.2%と先進国の中で最低レベルにあるにも 関わらず、死亡者は G7(主要先進7カ国)で 830人(5月24日現在)とダントツで少なく、重 症者重視の日本型対応を再評価する動きに切り替わっている。ノーベル生理学・医学賞 を受賞した本庶佑氏も「なぜ日本の感染者数や死亡者数がこれほど低いのか医学専門 家にとって依然、ミステリーだ」と述べている。

外国紙では、「個人の衛生意識が高く手を洗う習慣がある」「インフルエンザの予防接種やマスクの着用」「握手やハグの習慣がない」中には「納豆を食べる」といったものまでも飛び出し、どれが本当に効果的であるか定かではない。

ただ、全国にある保健所の存在と、徹底した感染者の追跡調査、クラスターを極力 未然に防止し、罰則のない「緊急事態宣言」などに国民が一致協力して取り組んでき たことが功を奏しているように見ることが出来ると思う。25 日には「緊急事態宣言」も全面 解除の諮問が打ち出され、そろりそろりと平時の生活に向かって動き出した感がある。 しかし、いつ次のコロナが襲ってこないとも限らない。これからも油断することなく三密に は極力留意しながら日本型コロナ退治を成功に導き世界から高く評価される国となるよ う力を合わせて取り組みたいと思う。

なお、秋田県高校野球連盟は7月に独自の大会を開催する方針を固めた。韓国で プロ野球や女子ゴルフも観戦者なしで競技を再開した。コロナ対策と両立を睨みながら スポーツ・文化活動など様々なイベント開催を模索して欲しい。

# フェア アンド リーズナブル

優れた経営はゆたかな創造性を求める。だから経営者は、一心不乱というよりも多心乱々に、複数の考え方を思考のネタ、発酵素として熟成させていくことが必要だ。

名経営者といわれた人たちの、ホラを吹いたり夢をふくらませるという離れ業の、いわば創作の陰にはそんな思考力があったとわたしは感じている。

わたしは昭和30年に慶應義塾を卒業したが、当時の経営学の先生、わた しの場合は中西寅雄先生であったが、企業は人間の視点に立って質を尊重 し人間の信頼を裏切らないようにすることが大事だ、と強調された。

これによって、企業とお客様の間、市場との間には、質の高い信頼関係が生まれていくのだ。それを英語で表現すればフェア アンド リーズナブルということになるのではないかという思索の深さを、わたしに示してくださった。

また企業財務論の大家・小高康雄教授は企業はどんなに突出した闘争心を示していっても鏡に映して恥ずかしくない理念と行動がなければならないということを教えてくださった。

何かやってやるという灼熱した精神力と、それを認めていく人びとのコラボレーションが、プロによって慣れではなく深められていき、迷いがあってもそれを考えのなかに入れて深めていくところに企業論の精神があった。

企業経営はプリンシプルから外れてはいけない。

ブランドは責任の所在、ニューバリューのコンセプトを明確に示していくものではないか。

企業は技術、商品、サービスの仕事によって人間や社会に幸せを与えていくことが大事であり、そのための労を惜しまない会社でなければならない。



## 川端 康成(日本のノーベル賞作家・文芸評論家)

1899年6月14日(明治32年) 大阪市北区天神橋に医師の父川端栄吉、母ゲンの

長男として生まれる。

1901 年に父が、1902 年に母が亡くなり祖父・祖母のも

とで育てられた。

1912年4月(明治 45 年) 茨木中学校に主席で入学。小説家を志し文芸雑誌を

読みあさる。

1914年5月(大正3年) 祖父三八郎死去。先に祖母カネ、姉芳子を亡くしてお

り、孤児となり、母の実家に引き取られる。

1917年9月(大正6年) 旧制第一高等学校文科第一部乙類(英文科)入学。

20歳今東光と知り合う。

1920年(大正9年) 東京帝国大学文学部英文学科に入学。

1921年(大正 10 年) 「新思潮」発行。芥川龍之介、久米正雄、横光利一等

と知り合う。

1924年(大正 13年) 東京帝国大学卒業。横光利一、中河与一等と同人誌

「文芸時代」を創刊。

1926年(大正 15 年) 「伊豆の踊子」を発表。その後数々の作品発表。ペン

クラブ会長辞任。

1961年(昭和 36 年) 第 21 回文化勲章を受章。

1965年(昭和 40 年) NHK 連続テレビ小説「たまゆら」放映。

1968年(昭和 43 年) ノーベル文学賞受章 1972年4月16日(昭和 47 年) 死去 享年 72 歳(自殺説)

オススメの BOOK



「本屋を守れ」 「読書と国力」(サブタイトル)

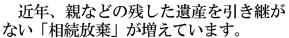
著者 藤原 正彦 出版社 PHP 新書

著者は「国家の品格」などでも有名。父は新田次郎氏・母は藤原ていさん。本人は大学の数学の先生。しかし、英国などで学び米国で教鞭もとった。そこで、国際人として認められるためには日本の歴史と文化について造詣が深いことが文化人として認められる第一歩だと解く。

そのためには、まず日本の国語をしっかり身につけることが大切で、読書の 大切さを訴えている。スマホに時間がとられ読書の時間も思索の時間も奪わ れていると嘆く。 惻隠の情や卑怯な真似はしないと保守派の論客だ。

#### くらしと保険のおはなし

#### 今、増えている相続放棄とは?



相続放棄とは「相続権を持つ法定相続 人が、被相続人の残した財産の一切を拒 否すること」です。一切の相続を拒否す るため、相続財産の中の現金や不動産と いった「プラスの財産」や借金、ローン など含めた「マイナスの財産」全てを一 切受け取らないことです。

相続放棄をする理由とは?

#### 1、故人の遺産の中に負債があるため

最も多いのがこの理由です。遺産には 預貯金や不動産、貴金属など「プラスの 財産」だけでなく、借金やローン、保証 人になっているなど「マイナスの財産」 もあります。

遺産の相続とは全てのものを引き継ぐことです。もし遺産の中に負債があった場合、返済義務を負いたくないために相続を放棄するわけです。

#### 2、納税できない

遺産を相続した場合、国に「相続税」 を払わなくてはなりません。非課税分も 法律で決まっていますが、それ以上の分 については税金を払う義務があります。 現金を相続する場合は、その現金から相 続税を除いた残りのお金が入ります。

しかし、不動産を相続する場合には、 相続税を現金で払う必要性があり、この 現金を用意できないために相続を放棄す るというケースです。

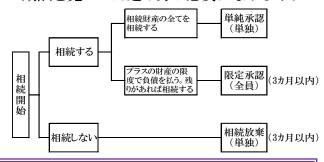
#### 3、管理・維持できない

家族が遠方に住んでいる場合、もし実 家の土地や家屋を相続しても、住んだり 管理したりすることができません。物件 を管理・維持できないために相続を放棄 するケースも増えています。

#### 4、とにかく相続したくない

家族や親族間での折り合いが悪いため に、相続自体に関わりたくないからと相 続を放棄するケースです。

このように相続放棄のメリットは相続によって相続人が被る不利益を防げることができます。被相続人(故人)が残はたける必要になった情金やローンを肩代わりする必要は、からないとです。相続した場合、デメリットとしているといと考えて相続放棄をしたら、も相にはりません。相続の開始(故人が亡くなって期限は、相続の開始(故人が亡くなって期限は、相続の開始(故人が亡くなって期限を見こした進め方が必要になります。





青森県と秋田県にまたがる世界遺産 森林浴で心と体を癒したいですね

#### 【編集後記】

休日には、猫のひたいほどの庭に植えている木の枝の剪定 や草取りの日が多くなってきた。

ちょっと手を抜くと草ボウボウになり庭が可愛そうに見えてくる。

朝カーテンを開け庭を見渡すと、一日ごとに庭の木々の芽が膨らんできて、今では初夏の太陽をいっぱいに浴びながら 日毎に新緑の緑が眩くなってくる。逞しい草木の成長に促せられながら今日一日が楽しく実り多い一日であって欲しいと手を合わせる。